



第5回 形原地区

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日 時：令和5年2月26日（日）
午後1時30分～午後4時30分

主 催：蒲郡市

会 場：形原中学校 多目的室 ほか

プログラム

| | |
|---|------|
| 開会 | 1：30 |
| 趣旨と経緯について ・ワークショップの趣旨・目的、進め方とスケジュール ・前回ワークショップの議事概要 | 1：35 |
| 地区利用型施設再配置プラン案について ・評価の修正 ・付帯事項 | 1：50 |
| グループ討議1 ・将来の形原地区の公共施設の配置としてふさわしい案（絞り込み） | 2：10 |
| グループ討議2 ・各案について配慮すべきことや実施する上で注意すべきこと（付帯事項） | |
| 発表 | 4：00 |
| あいさつ | 4：25 |
| 閉会 | 4：30 |

<目次>

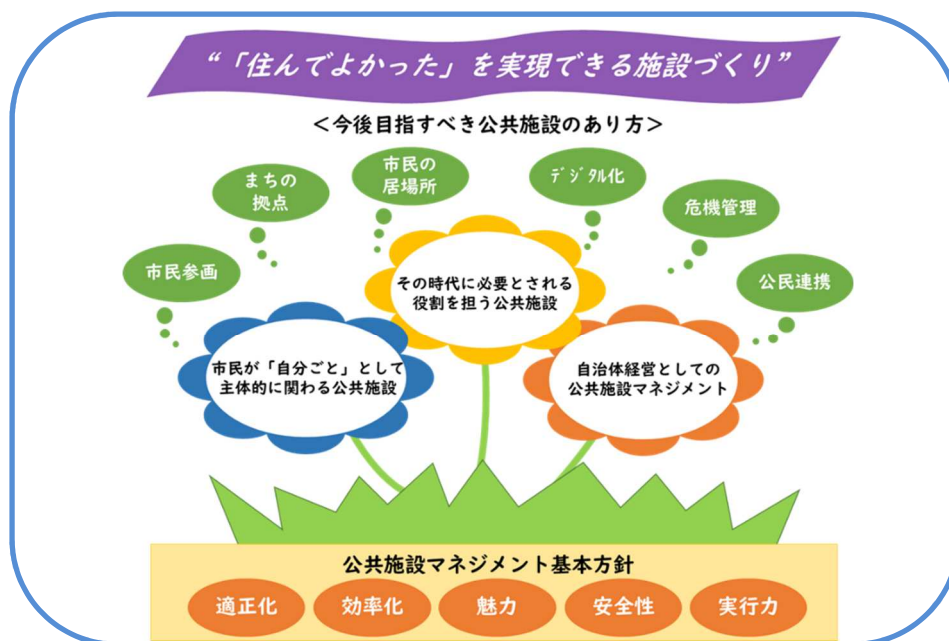
- ・ ワークショップの趣旨・目的 1
- ・ 進め方とスケジュール 2
- ・ 第4回ワークショップの結果概要（案） 7
- ・ 第4回ワークショップふりかえりシートご意見 14
- ・ ご質問等への回答 17
- ・ 形原地区の再配置プラン案 20
- ・ 評価に関する修正意見についての対応及び考え方 23
- ・ 再配置プラン案の評価検証【修正版】 29
- ・ 付帯事項について 32
- ・ 本日の検討内容 34
- ・ （別冊）項目ごとの評価の解説【修正版】

ワークショップの趣旨・目的

蒲郡市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲郡市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲郡市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、今後公共施設マネジメントを実施していくにあたって、蒲郡市が目指すべき方向性のイメージを示しました。



また、計画内では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

市は、皆様のご意見を参考に形原地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった” “住み続けたい” と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

進め方とスケジュール

1

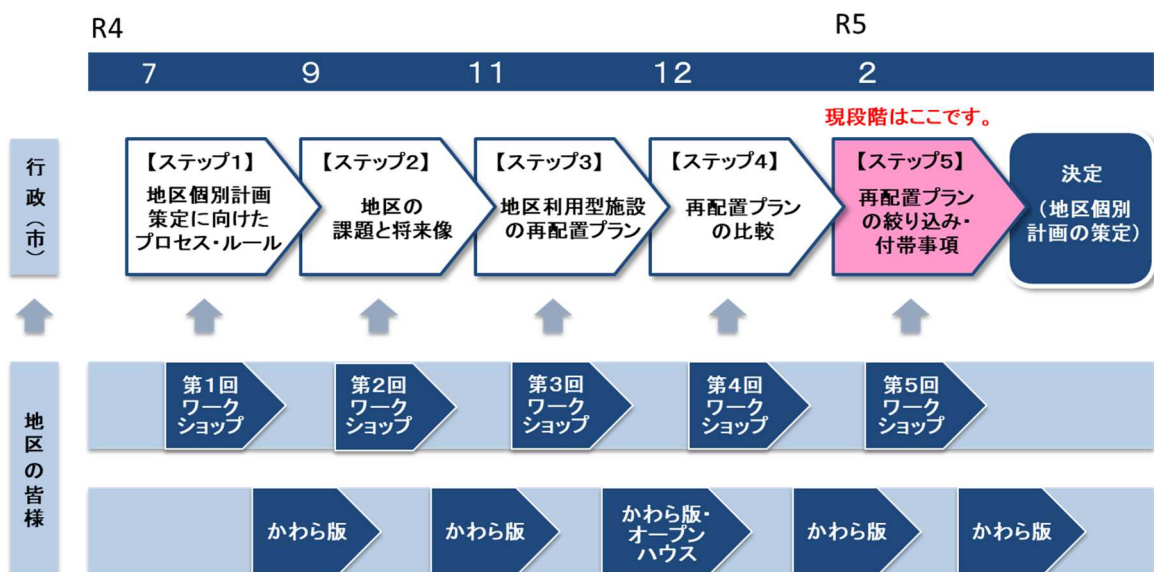
検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

2

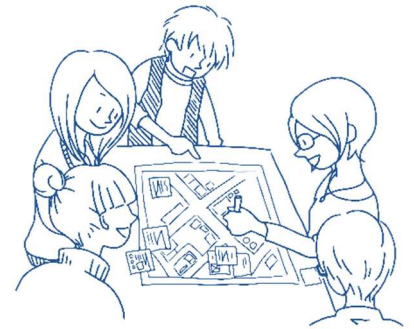
スケジュール（予定）



3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ワークショップ
- オープンハウス（パネル展示型説明会）
- かわら版



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、開催いたしました。

【かわらばん】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和5年2月までに5回開催します。
- 原則として土曜日・日曜日に開催します。
- 会場は、原則として地区内の学校または公民館とします。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますことをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

しらかわ よういち
白川 陽一

Keramago Works

8

ワークショップの参加にあたって

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

第4回ワークショップの結果概要（案）

1 評価表について

1) 評価方法全般

- 施設の集約と分散で評価が相反するものになっており、評価における考え方が難しい。

2) 視点ごとの評価項目

① 多様な人々との交流

<全般>

- 多様な人々との交流がすべての人に望まれているか分からないが、基本的に交流を深める方向性がよいだろう。

<イ 若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか>

- 公民館が隣接しているだけで利用しやすいとは判断できない。ソフト面での仕掛けが必要だろう。

② 子育てしやすい環境づくり

<カ 校庭・園庭の広さは確保されているか>

- 設計後のイメージがない状態では適切な判断が難しい。
- 校舎が高層化することで、園児・児童・生徒に窮屈感を与えないだろうか。
- 現在の形原小の敷地だけで評価をしているので、評価が低くなっている。敷地を広げることを前提、あるいは可能性を評価に反映するべきだと思う。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

③ 子ども達の居場所づくり

＜キ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか＞

- 地域活動において中学生が小さい子を見てくれることがある。このような異年齢の交流に期待したい。
- 異年齢の交流は良い面と悪い面がある。
- 保育園と中学校では年齢差がありすぎるのが心配だ。
- 敷地によっては、時間帯でボール遊びの時間を分けるなど運用面の工夫が必要。

＜ク 子ども達の居場所に選択肢があるか＞

- 現状で子どもは公民館を利用していない。公民館と児童館の複合で施設数は減るが、利用が促進されるならC、C1案は△ではなく○ではないか。

＜ケ 教育環境への影響はないか＞

- C、C1、D案は形原小と形原中が複合するが、同一敷地でも独立している（一貫教育ではない）なら、形原北小の中学からの合流も影響はないと思う。

④ 地域の活性化

＜コ 地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか＞

- 中学の部活動廃止後、公民館で部活動の補完ができるとうい。

⑥ 安全・安心

＜セ 災害時に被災しにくい施設配置となっているか＞

- 「被災のしにくさ」は海拔以外の条件も考慮しているのか。
- 公民館は高潮浸水想定区域にあるが、立地の安全性は建設時に検討できたのではないか。
- 公民館は避難所など公民館としての機能について評価をすればよいので

はないか。

<ソ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか>

- 「避難のしやすさ」を施設配置でどのように評価しているのか。
- 避難先が減ることは、とても心配である。
- C案は△になっているが、形原小の場所に公民館が移転し、避難所として機能するならば施設総数としては変更なし（○）で良いのではないか。

<タ 交通安全に配慮された施設配置となっているか>

- 学校周辺の交通環境の整備・改善が重要である。

2 再配置プランについて

<全般>

- 文化広場など全市利用型施設も配置プランに盛り込めば、更に柔軟な配置検討ができるのではないか。

<公民館>

- 公民館は建設して15年であり、早期の建て替えはもったいないため今の場所がよい。高潮については避難の時間も十分にあると思う。
- 公民館は地域の情報発信の場のため、安全な場所に移転したほうがよい。
- C1案は、公民館が北寄りに配置されているため、地域内のバランスを考えて配置したほうがよい。
- 公民館移転の場合、跡地利用をしっかりと考えたい。
- 公民館移転の場合は、広い駐車場などに有効活用してほしい。
- 文化広場も公民館活動と一体的に考えていきたい。

<児童館>

- 児童館は子どもや保護者にとって利用しやすい場所にあるため今の場所がよい。
- 低年齢児の場合、児童館は保護者が送迎して利用するので、立地による利

便性の問題は生じないだろう。

<小学校と中学校の複合化>

- 教育的なメリットが多そうだ。
- 学校施設を共有できる点でもメリットが大きい。
- プールを無くして敷地を確保してはどうか。
- 今後部活動が廃止され外部サークルなどに委ねると、更に駐車場ニーズが高まる。
- 適正規模にある小学校と中学校を敢えて複合化する必要はないのではないか。

<保育園と小学校の複合化>

- 小学校入学時の心理的なハードルを下げる効果もある。
- 教育的な効果は小学校と中学校の複合化よりも低いのではないか。

<西部防災センター跡地>

- 駅前の一等地なので駐車場の利用に留めるのはもったいない。
- 立地がよいため、民間に売却し公共施設の整備費用に回すのはどうか。
- 地元の会議ではロープ工業をテーマにした博物館を作るアイデアも出ている。

<A案>

- 保育園の駐車場確保で利便性が向上し、安全面も向上するだろう。
- 小学生にとって現在の小学校の場所は通学にも最も適している。
- 自分の中学生時代をイメージすると、保育園と中学校の複合化は安全面で不安がある。

<B案>

- 保育園と小学校、児童クラブの複合は送迎や交流の面で評価できる。
- 小学生にとって現在の小学校の場所は通学にも最も適している。
- 現在の形原小の敷地では駐車場の確保は厳しい。周辺敷地の購入も含め

て、十分に検討する必要がある。

- 形原小の敷地拡充は、実際には難しいだろう。
- 支所跡地を駐車場として活用する場合、形原小敷地と隣接しておらず、歩道のない道を経由するので使い勝手がよくない。
- 形原小敷地における施設整備では、建物の立体化や施設配置についても十分に検討してほしい。

<B1 案>

- 保育園と小学校、児童クラブの複合は、送迎や交流の面で評価できる。
- 小学生にとって現在の小学校の場所は通学に最も適している。
- 形原公民館は避難所ではないので、形原中・形原小・形原北小に移転するのもよい。
- 公民館の移転は、周辺住民に不安を与えるのではないか。
- 現在の形原小の敷地では駐車場の確保は厳しい。周辺敷地の購入も含めて、十分に検討する必要がある。
- 形原小の敷地拡充は、実際には難しいだろう。
- 支所跡地を駐車場として活用する場合、形原小敷地と隣接しておらず、歩道のない道を経由するので使い勝手がよくない。
- 形原小敷地を利用する場合、建物の立体化や配置についても十分に検討してほしい。
- 災害対策のために公民館を移転するならば、耐用年数まで待たずに早くやるべきだ。
- 将来的な公民館の移転は、その時の地域の人たちで最終判断をすればよい。
- 公民館を移転する案ではより大きな駐車場が必要であり、駐車場の確保が叶わなければ、利用促進も期待できない。

<C案>

- 教育の形態については十分に議論が必要。9年間の義務教育学校の場合、中学校から合流する形原北小の子どもは不公平になるので支持できない。
- 自分の中学生時代をイメージすると、保育園と中学校の複合化は安全面で不安がある。

<C1案>

- 教育の形態については十分に議論が必要。9年間の義務教育学校の場合、中学校から合流する形原北小の子どもは不公平になるので支持できない。
- 自分の中学生時代をイメージすると、保育園と中学校の複合化は安全面で不安がある。
- 公民館の移転は、周辺住民に不安を与えるのではないか。
- 形原公民館は避難所ではないので、形原中・形原小・形原北小に移転するのもよい。
- 形原北小に公民館など複合化する場合、周辺道路が狭く一方通行が多い。また、踏切が近く危ない。
- 敷地面において公民館や児童館の複合化が可能でも、施設が北に寄りすぎているため、地域のバランスを考えた方がよい。
- 文化広場の一部を形原地区の公民館的な役割として使えるなら、形原北地区に公民館を配置することも考えることができる。
- 災害対策のために公民館を移転するならば、耐用年数まで待たずに早くやるべきだ。
- 公民館を移転する案ではより大きな駐車場が必要であり、駐車場の確保が叶わなければ、利用促進も期待できない。

<D案>

- 教育の形態については十分に議論が必要。9年間の義務教育学校の場合、中学校から合流する形原北小の子どもは不公平になるので支持できない。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 小学校と中学校が同一敷地になり、教育連携がスムーズになる。保育園の敷地に余裕ができ、環境が良くなる。
- 形原小の敷地に余裕ができるので、コンビニやカフェなど駅前にあると便利な施設を誘致できるとなおよい。

<その他>

- 施設を複合化することで、施設の利用時間が長くなり人の出入りが増えたときに、安全性の確保が図られるだろうか。
- 学校や保育園の先生など教育現場の方の声も十分に聞いて検討する必要があるだろう。
- 人口増加が期待されるエリアのことも考慮して施設配置を検討してほしい。

第4回ワークショップ ふりかえりシートご意見

1 今日の議論で良かったこと

- 最終日が近づいてまいります。大きな議題から狭めて来ました。意見に基づく評価の基準が個々の価値によって異なります。評価点数のみの決定ではなく大きな視野で考えて下さい。
- グループの中では異年齢間の交流ができる事に重点をおいている方が多く、1回目、2回目の頃から年代の異なる人たちが利用する施設のメリットを話す機会が多くあり、交流会館的な施設のあり方に魅力を感じているグループだと思っていました。4回目で話が具体的に変わった時に、皆さんもまた異年齢の人たちが交流する事の良い影響だけでなく、しっかりと悪い影響も含めイメージして話し合いが出来ていて、具体的な話し合いができ、知識も広がり勉強になりました。
- 広い意見を聞くことができ、又とないチャンスをいただけたこと感謝します。ありがとうございました。いつきても不思議ではないと言われている東南海トラフ地震、気候変動に伴う、災害など予期できない事故などから老人、子ども、家族を守るためにも避難所の開設やどの地区からも集まりやすい周辺道路の安全確保が充実することが議論されたこと、形原ならではの問題点だと思いました。
- 適正化、小中一貫等、文字のみでは理解しにくい点が、聞いてよかった。特に小中一貫は9か年教育をするのと、建物を別にするのでは考えた方は異なるので認識を共有するべき。※西浦は9か年教育と何うと市内での教育格差が不安に感じる（カリキュラムの先取りと少人数学級）。
- 全員から考え方が出され、特に女性の意見は男性と異なり、息吹が吹き込まれた。
- 前回お休みしたため、急にA・B・B1・C・C1・D案と出ていて少し戸惑いましたが、みなさんの意見が聞いて良かったです。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 地区利用型施設再配置プラン案では、A・C案もいいかなと思いました。
- 各案（A～D案）に対しての課題について、具体的な意見が多数発表されよかった（方向性あり）。
- この段階になってくると、どれも一長一短なので決めることは難しいです。議論も前回と比べると活発な意見ができなかった。
- 良い意見がたくさん出て、より具体的にはなったけれど、敷地の問題や学校に通う子どものことを考えると、全て良い事ばかりではないと分かった。
- 敷地問題がしっかり出てきたこと。保育園と形原小学校を一体化は難しい。
- マイナス評価を先に考えないで案を考えるとという視点を取り入れたい（〇〇にしたいが〇〇なのでダメだなという考え方をしない）。
- 要望については伝えることができた。あとは市の考えで決断する段階に入ってきたと思える。
- 自分の気づかない点、視野が狭い見方しかしていない点など勉強になりました。グループのみなさんのすばらしい討論で良かったです。
- 具体的に煮詰まってきた意見が出るようになったと思います。
- 小中保の子ども達の事をよく思って意見の交換が出来たと思います。
- 具体的な案ができていたため、リアルな検討ができてよかった。

2 内容について言い足りなかったこと

- 決定が楽しみです。寛大な評価で決定して下さい。将来の形原地区を飛躍する為に宜しくお願い致します。
- 学校、保育園等は建設年数も経っている。児童館、公民館はまだ寿命をかなり残しており、長寿命化か移転か意見の別れるところ。特に公民館は東日本大震災の数年前だったため、震災後の建設だったら別の場所だったかも知れない。自分としてはこの二つは長寿命化でいいかなと。
- 話し合いの際に話題になりましたが、今後の施設を考える際、今後の都市計画や道路計画も含めて長い目で見て利用しやすい施設に出来ると良いと思います。形原小学校も、形原中学校も、形北小学校もとても良い位置にあります。周辺道路は問題が多い立地だと思います。元々形原は漁師町なのもあり、急坂の狭い道に家が立ち並んでいるエリアが多く、そういうところは救急車や消防車ももちろん通れません。空き家も多く今後の課題となる地域だと思います。形原の生活拠点にするならば、そういうエリアの問題解決とともに進めて頂けたらなと思います。
- 参加者が4人と少なく残念でした。
- 形中を核に文化広場も含め、再配置が議論されればもっと良かった。
- 小中一貫教育の形態がよく分からなかったけど、形北小、形原小とあるので統一してほしい。

ご質問等への回答

- 学校や保育園の先生など教育現場の方の声も十分に聞いて検討する必要があるだろう。

再配置プラン案などについては、市役所内の関係部署からなる「公共施設見直し検討委員会」で検討した上で資料配布やワークショップにお示しています。そこには、学校・保育園・公民館を担当する職員も所属しており、それぞれの立場からの意見も踏まえて検討を行っています。

また、先行している塩津、西浦地区では「地区個別計画」策定後、施設整備の計画や設計を行う段階で、実際に施設を運営していく先生や保育士、公民館主事などからも意見を伺いながら詳細を検討しています。

- 文化広場など全市利用型施設も配置プランに盛り込めば、更に柔軟な配置検討ができるのではないか。
- 文化広場も公民館活動と一体的に考えていきたい。
- 文化広場の一部を形原地区の公民館的な役割として使えるなら、形原北地区に公民館を配置することも考えられる。

第2回ワークショップの「ご質問等への回答」でお示したとおり、今回のワークショップで配置や活用方法を検討いただく施設は、「地区利用型施設」である小中学校・保育園・公民館・児童館です。文化広場は「全市利用型施設」と位置付けており、配置や活用方法を検討いただく対象の施設となっておりません。

一方、文化広場は形原地区の方が身近に感じている施設であり、実際に地域の会合や活動に利用するなど、公民館や地域集会施設と似た使い方もされています。

第5回ワークショップでは、「地区利用型施設」の再配置にあたって配慮すべきことや注意すべきこと（付帯事項）をご検討いただく時間を設けています。その際に、文化広場についてもご意見をいただければと思います。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

なお、「公民館グランドデザイン」では、公民館を建て替える際には「学校との連携がしやすい環境を整備し、地区公民館の利用者と児童・生徒が自然と交流できるような施設を目指す」としています。したがって、文化広場を公民館そのものと位置付けたり、公民館機能の一部を配置したりすることは、市としては想定しておりません。

- (B・B1案について) 形原小敷地における施設整備では、建物の立体化や施設配置についても十分に検討してほしい。

再配置プラン案の提示にあたっては、実際に敷地内で施設配置が可能か、検証を行っています。市内の他の施設の現状を踏まえ、学校については最大4階建て、保育園については2階建てで検証したところ、B・B1案については、敷地内では想定台数の駐車場の確保が困難という結果となりました。

ご意見でいただいたように、小学校と保育園を同一建物の別フロアに配置したり、地下を活用することで、駐車場も含め、敷地に収める手法も考えられます。他にも、さらに階数を増やしたり、会議室など一部の機能を共用するなどの手法も考えられますが、一方で、使い勝手が悪くならないか、教育・保育環境に問題がないかなど、より詳細な検討が必要となってきます。

仮にB案やB1案に沿った計画を策定することとなった場合には、駐車場用地を周辺に求めるのか、あるいは建物配置などを工夫して駐車場も含めて敷地内で確保するのか、実際に施設を運営する学校や保育園の先生などの意見も伺いながら、検討を進めていきたいと考えています。

- プールをなくして敷地を確保してはどうか。

再配置プラン案の提示にあたっては、小中学校は現在と同規模のプールを配置する想定で敷地の検証を行っています。したがって、プールをなくした場合は、その分敷地に余裕が生まれます。また、市外の学校では校舎の屋上にプールを配置しているケースもあり、その場合にも同様の効果が見込まれます。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

市内の一部の小中学校では校内のプールを使用せず、民間プール施設で水泳授業の指導委託する取組を、令和元年（4年前）から試行しており、現在、教育委員会では、学校プールのあり方について検討を行っています。その結果を踏まえ、実際の施設整備の際にはプールの設置を判断することになります。

- 災害対策のために公民館を移転するならば、耐用年数まで待たずに早くやるべきだ。

ワークショップが始まった際に配布をさせていただいた「資料集」には、津波・高潮・土砂災害といった各種ハザードエリアを示した地図を付けています。それによると、現在の形原公民館は、各種ハザードエリアのうち、高潮浸水想定区域に該当しています。

高潮は、地震による津波とは異なり、主に台風接近時に発生するため、事前の予測や避難が可能です。そのため、高潮の発生が想定される場合、公民館を休館にすることで、人的被害については防ぐことができると考えており、市としては現段階で移転が必要とは考えていません。

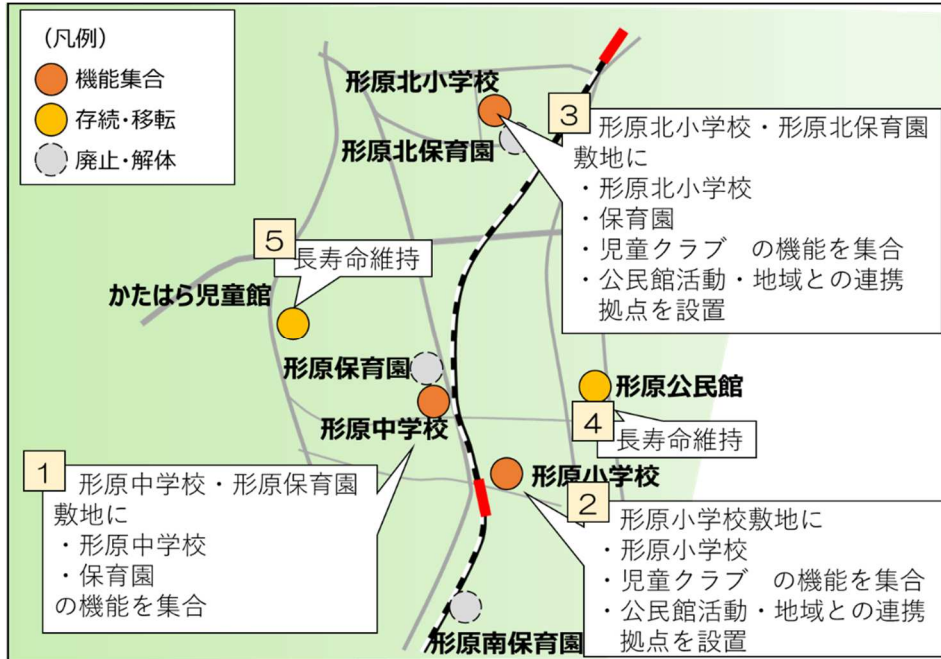
一方、ワークショップの中では、災害時に心配といったご意見を伺ったため、それをもとに、公民館を建て替える際に高潮の浸水が想定されない区域へ移転させるプランを追加してお示ししたものです。

A

保育園の駐車場を確保するプラン

【重点を置いた解決策】⑨

- 1 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、保育園の機能を集合します。
- 2 現在の形原小学校の敷地に、形原小学校、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 3 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 4 形原公民館は、現地で長寿命化し維持していきます。
- 5 かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 小学校、中学校の敷地に保育園が集合することで、保育園のお迎え時の駐車場を確保できる。
- 形原中学校・形原保育園敷地に、中学校と保育園が集合することで、異年齢間の交流や災害時の連携に取り組みやすい。

【関連する解決策】①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

課題

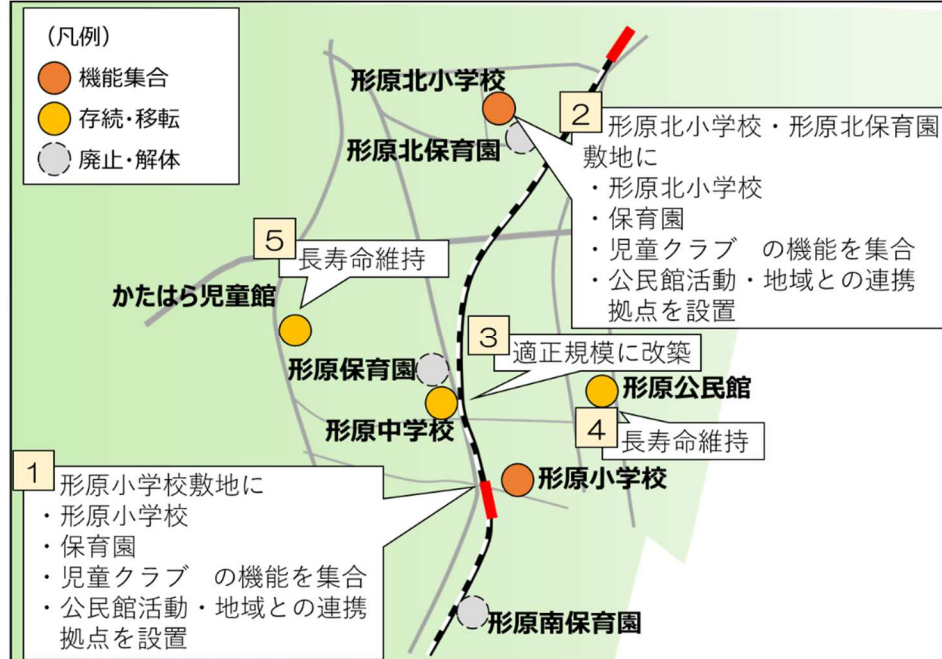
- 形原中学校敷地の保育園と形原小学校敷地の児童クラブが離れてしまうため、お迎えの負担が大きい。

B

子どもの交流の充実を図るプラン

【重点を置いた解決策】③

- 1 現在の形原小学校の敷地に、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 2 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 3 形原中学校は、適正規模に改築します。
- 4 形原公民館は、現地で長寿命化し維持していきます。
- 5 かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 小学校、保育園が集合することで、異なる年齢間での交流が期待できる。
- 児童クラブと保育園が集合することで、お迎えの負担が軽減される。

【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑩

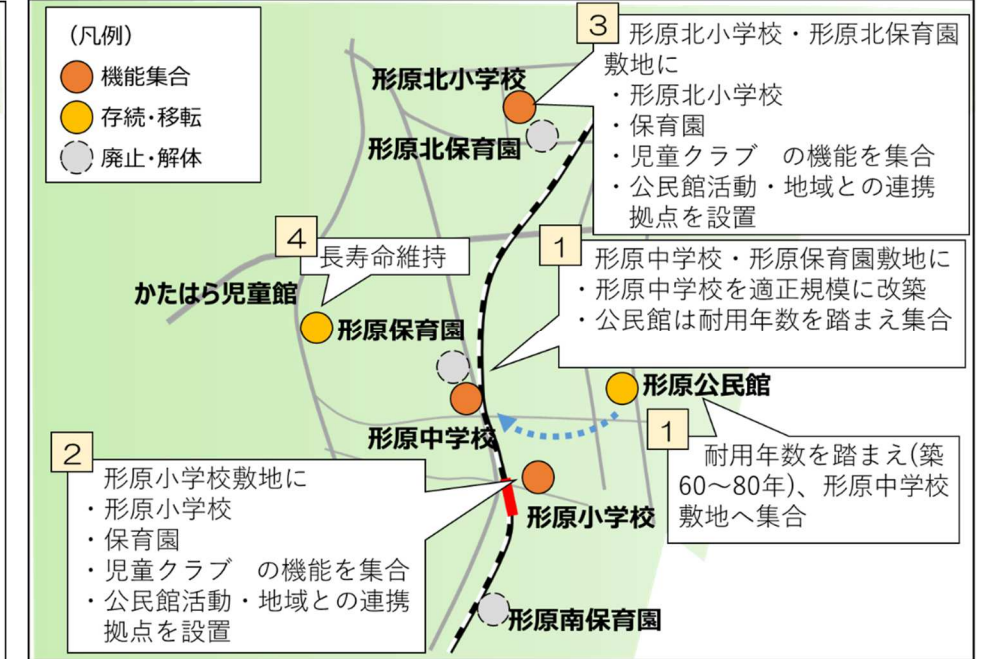
課題

- 周辺の敷地も考慮に入れないと、現在の形原小学校敷地だけでは駐車場が確保できない。

B1

B案の公民館を将来的に中学校へ集合するプラン

- 1 現在の形原中学校・形原保育園の敷地で、形原中学校を適正規模に改築します。公民館は耐用年数を踏まえ後から集合します。
(平成21年度建設から60~80年を目安)
- 2 現在の形原小学校の敷地に、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 3 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集合、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 4 かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 高潮浸水想定区域に建てられている公民館を、高台に移転できる。
- 地区の中心部に位置する中学校敷地に公民館が整備されることで、利便性が向上する。

課題

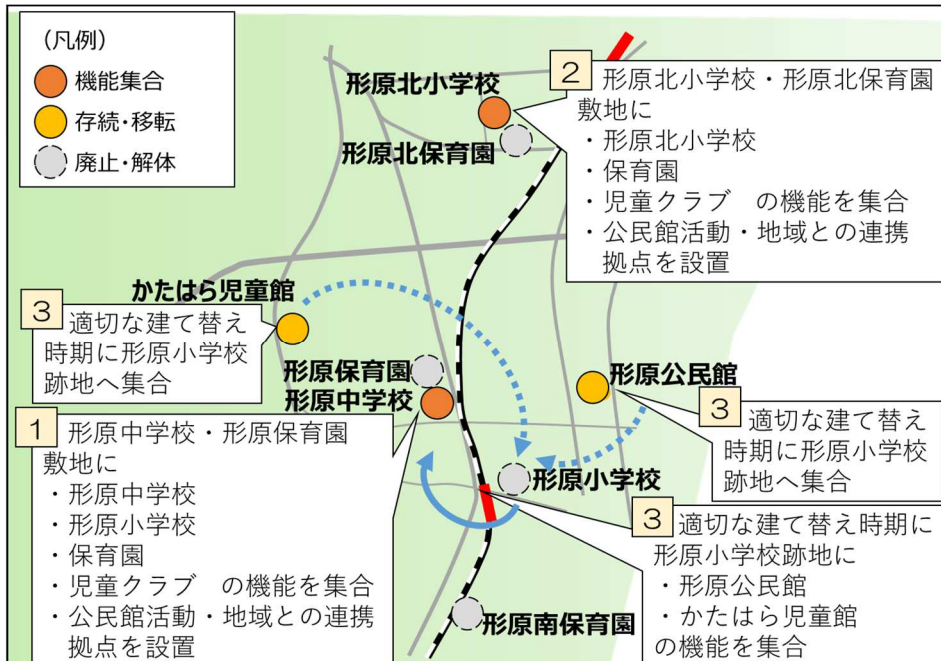
- 公民館は後から集合するため、機能配置などに工夫が必要であり、集合で期待される効果(配置や費用面)が充分に得られない可能性がある。
- 周辺の敷地も考慮に入れないと、現在の形原小学校敷地だけでは駐車場が確保できない。

C

多世代交流の拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】①

- 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 形原公民館、かたはら児童館は、適切な建て替え時期に形原小学校跡地へ集合します。



特徴

- 形原中学校・形原保育園敷地に、小中学校、保育園、児童クラブが集合することで、多世代交流の拠点が整備される。
- 将来的に公民館、児童館が集合することで、高齢者と子どもの交流拠点となる。

【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑩

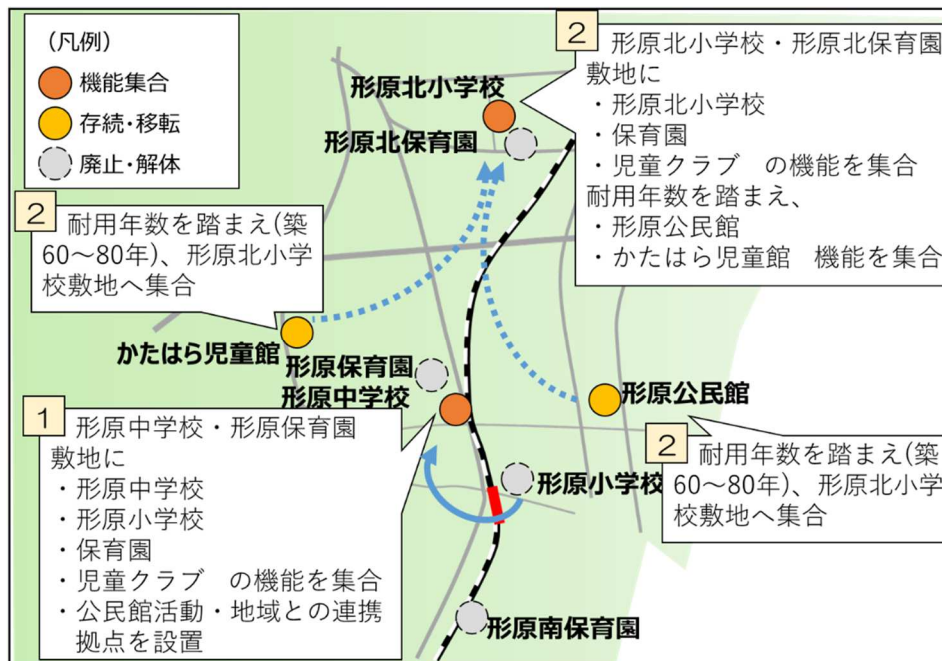
課題

- 現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。

C1

C案の児童館、公民館の集合先を変更するプラン

- 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、形原小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。公民館、児童館は耐用年数を踏まえ後から集合します。
 (児童館：平成3年度建設、公民館：平成21年度建設から60～80年を目安)



特徴

- 将来的に形原北小学校、保育園、公民館、児童館が集合することで、高齢者と子どもの交流拠点となる。
- 形原駅近くの形原小学校跡地を、別用途での活用が可能となる。

課題

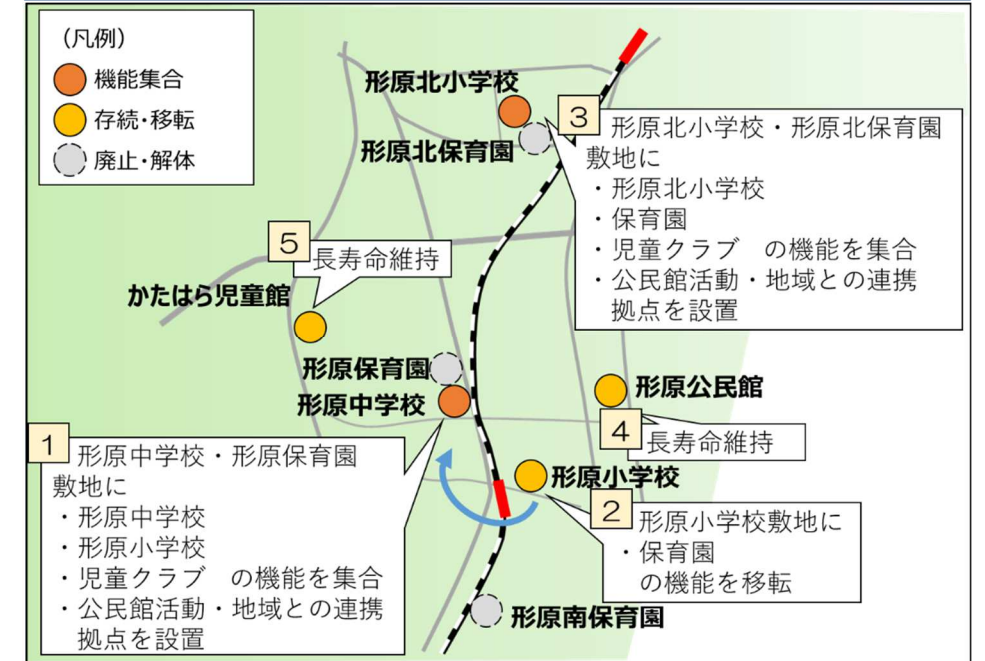
- 市街化調整区域(市街化を抑制すべき区域)に公民館と児童館を移転することになる。
- 現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。
- 公民館と児童館は後から集合するため、機能配置などに工夫が必要であり、集合で期待される効果(配置や費用面)が十分に得られない可能性がある。

D

保育環境の充実を図るプラン

【重点を置いた解決策】④

- 現在の形原中学校・形原保育園の敷地に、形原中学校、形原小学校、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 現在の形原小学校敷地に、保育園の機能を移転します。
- 現在の形原北小学校・形原北保育園の敷地に、形原北小学校、保育園、児童クラブの機能を集め、校内に公民館活動・地域との連携拠点を設置します。
- 形原公民館は、現地で長寿命化し維持していきます。
- かたはら児童館は、現地で長寿命化し維持していきます。



特徴

- 形原小学校移転後の跡地を活用でき、駐車場や園庭などに余裕がある使いやすい保育園を整備できる。
- 形原中学校・形原保育園敷地で、中学校、小学校が集合することで、合同での行事実施など教育環境が充実する。

【関連する解決策】①②④⑥⑦⑧⑨⑩

課題

- 現状の教育形態では、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになる。
- 児童クラブと保育園が離れるため、お迎えの負担が大きい。

〈小中学校規模適正化方針〉

【標準規模・標準配置】

| | 標準規模 | 標準配置 | |
|-----|----------|---------|--------|
| | | 通学距離 | 通学時間 |
| 小学校 | 12～18 学級 | 概ね 4 km | 1 時間以内 |
| 中学校 | 9～18 学級 | 概ね 6 km | 1 時間以内 |

→市の標準規模を下回る規模の学校は適正化に向けた検討を行う

【地区内の適正化検討対象校とその対応策】

○形原小学校

[令和2年] 普通学級数：12 学級 児童数：338 人
 [推計(令和22年)] 普通学級数：12 学級 児童数：238 人

○形原北小学校

[令和2年] 普通学級数：16 学級 児童数：448 人
 [推計(令和22年)] 普通学級数：12 学級 児童数：314 人

○形原中学校

[令和2年] 普通学級数：13 学級 児童数：433 人
 [推計(令和22年)] 普通学級数：9 学級 児童数：290 人

→ 令和22年には、3校とも蒲郡市の小・中学校の標準規模内と推計されています。

〈保育園ランドデザイン〉

【基本的な考え方】

- ・各地区、各保育園で統一的な保育サービス(低年齢児保育・延長保育)を実施できるよう適正配置について検討します。
- ・基準とする規模は、一人一人のきめ細やかな保育を実現しつつ、健全な成長・育ちの観点から集団保育を保證できる保育園の規模(概ね80～130人程度)とします。

【形原中学校区における考え方】

○ 将来ニーズの予想

| | 0-5歳児計 |
|----------------------------|--------|
| 2040年時点中学校区内保育園等入所数予想(①+②) | 250 |
| 2040年時点中学校区内居住児童の入所ニーズ予想① | 310 |
| 2040年時点他中学校区の民間園への入所予想② | ▲60 |

○ 今後のあり方

- ・現在の公立保育園を3園から2園に集約します。2040年時点の中学校区内保育園等入所数予想は250人程度であり、仮に2園に集約した場合でも、1園当たり125人規模となり、基準とする規模内です。
- ・保育園の集約を行うことで、効率的なクラス編成を行うことができ、保育サービスの充実につなげることができます。

〈蒲郡市立小中学校における小中一貫教育の推進について〉

【小中一貫教育の導入の方向性】

子どもたちの教育を地域とともに考え、地域の特色を生かした教育課程を柱とし、小中学校が目指す子どもの姿を共有しながら、すべての小中学校区において、地域とともに義務教育の9年間を通じた教育活動を行っていく。

【小中一貫教育の形態】

○ 義務教育学校

一人の校長の下に一つの教職員集団が9年間一貫した教育課程を編成し実施する。

○ 併設型小学校・中学校

設置者が同じ学校(小学校、中学校)が9年間一貫した教育課程を編成し実施。同一敷地内あるいは隣接する敷地内の学校が連携しながら小中一貫教育を進める場合(施設一体型)と、離れた敷地に設置された小中学校が連携して教育活動を実施する場合(施設分離型)がある。

○ 連携型小学校・中学校

設置者(教育委員会等)が異なる学校が連携して一貫した教育を行う学校。(例 市町村立小学校と組合立中学校 等)

〈公民館ランドデザイン〉

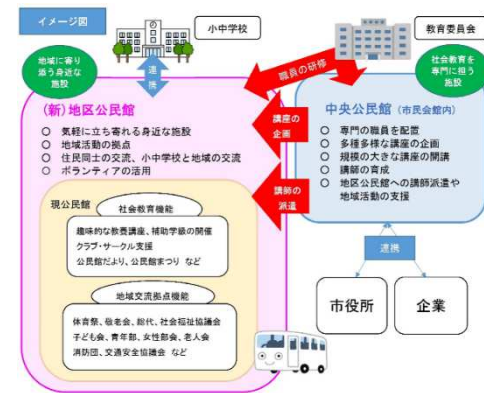
【目指すべき公民館の姿】

公民館の機能を2つに分け、それぞれの機能を十分に発揮させます。

① 社会教育機能(学習機能)を果たす「中央公民館」

② 地域交流拠点機能(地域と人のつながり)を果たす「地区公民館」

※ 地区公民館建替の際には可能な限り小学校との複合化を検討する。




【形原地区の公民館の配置に関する考え方】

地区内に小学校は形原小学校と形原北小学校の2校ありますが、地区コミュニティの分断を避けるため、この地区に配置する公民館の数は1館が相当とします。

評価に関する修正意見についての対応及び考え方

| 番号 | 項目 | ご意見 | 対応・事務局としての考え方 |
|----|----|--|--|
| 1 | 全般 | 施設の集約と分散で評価が相反するものになっており、評価における考え方が難しい。 | ○プランを比較するため、皆さまのご意見を参考に評価項目を設定しています。各プランについて多角的な視点で、ご意見をいただいております。集約と分散で相反する評価となっているプランもございますが、ご了承ください。 |
| 2 | イ | 公民館が隣接しているだけで利用しやすいとは判断できない。ソフト面での仕掛けが必要だろう。 | ○ご指摘いただいたように、施設が隣接するもしくは複合するだけでは、利用のしやすさにはつながらない面もあることから、施設整備と併せて運用などのソフト面の工夫も重要であると考えています。 ○施設完成後の運用については、第5回目のワークショップにおいて付帯事項として、検討していきます。ぜひ、ご意見いただけますと幸いです。 |
| 3 | カ | 設計後のイメージがない状態では適切な判断が難しい。 | ○実際の建物配置は、施設を整備する際の設計業務などの中で検討することになるため、現段階ではイメージをお示しすることはできませんが、参考として、塩津地区における施設設計のイメージをお示しします。なお、敷地内に建物が配置できるか検証を行った上で各プランを提示しています。 ○また、項目カ「校庭・園庭の広さは確保されているか」では、施設配置が可能であることに加え、校庭・園庭についても確保できるかを検証し、評価に反映しています。 |

| 番号 | 項目 | ご意見 | 対応・事務局としての考え方 |
|----|----|--|--|
| | | <p>【塩津地区 設計イメージ（令和4年9月プレゼンテーション時点）】</p>  | |
| 4 | 力 | <p>校舎が高層化することで、園児・児童・生徒に窮屈感を与えないだろうか。</p> | <p>○現在の形原地区の小中学校の校舎は全て3階建て、保育園の園舎は2階建てもしくは平屋となっていますが、市内の学校では4階建ての校舎もあります。それを踏まえて、学校は最高で4階建て、保育園は2階建てで検討をしています。</p> |
| 5 | 力 | <p>現在の形原小の敷地だけで評価をしているので、評価が低くなっている。敷地を広げることを前提、あるいは可能性を評価に反映するべきだと思う。</p> | <p>○現状市が保有している以外の土地は、購入が前提となりますが、将来的な売買の実現性が担保できないこと等を勘案し、現状の市が保有している土地のみの再配置プランや評価を提示させていただきました。</p> <p>○また、西部防災センター跡地は、今後活用方法を検討していくことになるため、今回の評価には反映していません。</p> |

| 番号 | 項目 | ご意見 | 対応・事務局としての考え方 |
|----|----|--|---|
| 6 | キ | 地域活動において中学生が小さい子を見てくれることがある。このような異年齢の交流に期待したい。 | ○項目キ「異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか」は、1つの場所で保育園児から中学生まで世代間交流できる施設となるとよいといったご意見から作成しています。 ○ただし、ご指摘いただいたとおり、交流する子ども達の年齢差が大きいことは良い面もある一方で、体格差が生じ危険であるといったご意見もいただいています。 ○施設を複合する場合には、安全面に配慮した施設配置や運用上のルール作りに努めていきます。 |
| 7 | キ | 異年齢の交流は良い面と悪い面がある。 | |
| 8 | キ | 保育園と中学校では年齢差がありすぎるのが心配だ。 | |
| 9 | キ | 敷地によっては、時間帯でボール遊びの時間を分けるなど運用面の工夫が必要。 | ○施設整備だけでなく、完成後のルールづくりも大切だと考えています。 ○敷地内における運用については、第5回目のワークショップにおいて付帯事項として検討していきます。ぜひ、ご意見いただけますと幸いです。 |
| 10 | ク | 現状で子どもは公民館を利用していない。公民館と児童館の複合で施設数は減るが、利用が促進されるならC、C1案は△ではなく○ではないか。 | ○項目ク「子ども達に居場所の選択肢があるか」は、部活動や子ども会がなくなってしまうことで、子ども達の間関係が狭いコミュニティで完結してしまうことを懸念したご意見から、子ども達に複数の居場所を作ることができるかについて評価をしました。 ○そのため、ご指摘いただいた公民館の利用促進という視点というよりも、利用できる場所の数により評価をしています。 ○なお、子ども達の公民館の利用促進という面では、項目イ「若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか」において評価をしています。 |

| 番号 | 項目 | ご意見 | 対応・事務局としての考え方 |
|----|----|--|---|
| 11 | ケ | C、C1、D 案は形原小と形原中が複合するが、同一敷地でも独立している（一貫教育ではない）なら、形原北小の中学からの合流も影響はないと思う。 | <p>○項目ケ「教育環境への影響はないか」は、形原中学校と形原小学校が集合する場合、形原北小学校に通う児童は、中学校入学時から合流することになることに対し、教育上も課題があるといった意見に基づき作成しました。</p> <p>○各プラン案における小中一貫教育の教育形態については現時点では未定ですが、ご指摘の通り、形原北小からの合流について心配がないというご意見もいただいたため、双方のご意見を考慮し、C、C1、D 案を「△」から「○」の評価へ変更しています。</p> |
| 12 | コ | 中学の部活動廃止後、公民館で部活動の補完ができるとうい。 | ○部活動廃止後の子ども達へのサポートについては、地域人材が部活動などの子ども達の交流の機会に力を添えられるとういといったご意見をもとに、項目シ「高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか」において評価をしています。 |
| 13 | セ | 「被災のしにくさ」は海拔以外の条件も考慮しているのか。 | <p>○項目ケ「災害時に被災しにくい施設配置となっているか」は、津波、高潮、土砂災害などのハザードにかかっているかどうかで評価をしました。そのなかで、公民館のみ高潮浸水想定区域に位置していることから、それをもとに評価をしています。</p> <p>○「高潮浸水想定区域」は、愛知県が海域地形及び潮位の条件等を設定した上で、台風により生じる高潮を計算し、沿岸部への浸水想定を算出しています。</p> |

| 番号 | 項目 | ご意見 | 対応・事務局としての考え方 |
|----|----|--|--|
| 14 | 提案 | 公民館は避難所など公民館としての機能について評価をすればよいのではないか。 | ○公民館には、防災だけでなく、地域活動の場、世代間交流の場、地域の伝統や担い手の育成の場など、多様な機能があります。こうした機能に着目して評価項目を設定し、各プランの比較・評価を行っています。 |
| 15 | セ | 公民館は高潮浸水区域にあるが、立地の安全性は建設時に検討できたのではないか。 | ○高潮浸水想定区域は、平成27年(2015年)に水防法の改正により、想定し得る最大規模の高潮に対する避難体制等の充実・強化のため、高潮により相当な被害が生ずるおそれがある海岸について、公表する制度により設定されました。 ○なお、公民館の建設は平成21年であり、高潮浸水想定区域の設定前であることから、建設時には現在ほど高潮のリスクを考慮できませんでした。 |
| 16 | ソ | 「避難のしやすさ」を施設配置でどのように評価しているのか。 | ○項目ソ「災害時に避難しやすい施設配置となっているか」では、地震などの大規模災害時に避難先となる小中学校の位置と数で評価しています。 ○C・C1・D案は、形原中学校敷地に形原小学校に集合することで、避難所となる小中学校の数が減り、現在の形原小学校周辺からは避難所となる学校が遠くなることから、「△」評価としています。 |
| 17 | ソ | 避難先が減ることは、とても心配である。 | |

| 番号 | 項目 | ご意見 | 対応・事務局としての考え方 |
|----|----|--|--|
| 18 | ソ | <p>○案は△になっているが、形原小の場所に公民館が移転し、避難所として機能するならば施設総数としては変更なし（○）で良いのではないか。</p> | <p>○蒲郡市では、地震時など大規模災害時に避難する指定避難所は主に学校の体育を指定しており、公民館は指定していません。</p> <p>○そのため、施設再配置後も、学校が避難所として指定されることを想定して評価をしています。</p> <p>○なお、指定避難所とは別に、台風など風水害時に一時的に避難する「地域避難所」があり、主に公民館を指定しています。ただし、形原公民館は海に近いので、代わりに形原中学校を指定しており、公民館の移転によって地域避難所の数が増えることはありません。</p> |
| 19 | タ | <p>学校周辺の交通環境の整備・改善が重要である。</p> | <p>○ご指摘いただいたとおり、施設整備だけではなく、周辺の環境整備も重要だと考えています。</p> <p>○なお、施設の周辺環境に関することについては、第5回目のワークショップにおいて付帯事項として検討していきます。ぜひ、ご意見いただけますと幸いです。</p> |

再配置プラン案の評価検証【修正版】

1 再配置プラン案を比較評価するための評価軸

| 視 点 | 内 容 | 評価項目 |
|----------------|--|--|
| ① 多様な人々との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ● 多世代交流ができる場は整備されているか。 ● 若い世代や外国人が集まる場所は整備されているか。 | ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。(施設の位置関係で評価) イ 若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか。(公民館・児童館と他の施設の位置関係で評価) |
| ② 子育てしやすい環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 低年齢児保育や延長保育など保育サービスは向上するか。 ● 保育園の利便性は確保されているか。 | ウ 低年齢児保育などの保育サービスを向上させる規模・配置となっているか。(保育園の規模の見込で評価) エ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。(保育園と児童クラブの位置関係で評価) オ 保育園は自動車を利用しやすいよう整備されているか。(駐車場の確保可能性で評価) カ 校庭・園庭の広さは確保されているか。(校庭・園庭の確保可能性で評価) |
| ③ 子ども達の居場所づくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども達の居場所・遊び場は確保されているか。 ● 子ども達の交流機会は確保されているか。 | キ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。(学校と保育園の位置関係で評価) ク 子ども達の居場所に選択肢があるか。(公民館・児童館等が配置される位置の数で評価) ケ 教育環境への影響はないか。(学校の位置関係で評価) |
| ④ 地域の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の伝統継承や担い手の育成に寄与する施設配置となっているか。 ● 地域への愛着を育む施設配置となっているか。 | コ 地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか。(公民館等と学校の位置関係で評価) サ 地域(形原小と形原北小学区)バランスの考慮は出来ているか。(施設の位置関係で評価) |
| ⑤ 高齢者の活躍 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の居場所が確保されているか。 ● 高齢者のスキルを発揮できるような施設配置となっているか。 | シ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。(公民館等と学校・児童館の位置関係で評価) ス 活動場所がより多く確保されているか。(公民館等の数で評価) |
| ⑥ 安全・安心 | <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全に配慮した施設配置となっているか。 ● 災害時の安全性は確保できているか。 | セ 災害時に被災しにくい施設配置となっているか。(公民館の位置で評価) ソ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。(学校が配置される位置の数で評価) タ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。(学校と保育園の位置関係で評価) |
| ⑦ 利便性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車スペースは確保されているか。 ● バリアフリーに配慮された施設は整備されているか。 | チ 通学しやすい施設配置となっているか。(小学校の周辺年少人口及び通学距離で評価) ツ 駐車スペースは確保されているか(保育園を除く)。(駐車場の確保可能性で評価) テ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。(施設内の駐車場の位置関係で評価) |
| ⑧ 効率的な施設配置 | <ul style="list-style-type: none"> ● 維持更新費用・運営費用は縮減されているか。 | 一定期間の施設にかかる総コストが低いものを評価する。 ・面積が小さいなど、建替え・改築費・改修費・修繕費が安価な場合は総コストが低くなる。 ・土地の売却や借地の返還が発生する場合は、総コストが低くなる。 ・面積が小さいなど、建物の維持管理費(光熱費・保守点検費等)が安価な場合は総コストが低くなる。 |

2 皆さまから頂いたご意見に基づく評価

- 視点①～⑦については、評価項目ごとに ◎：現状より向上、○：現状維持もしくは一長一短がある、△：現状より低下 の3段階で評価します。
- 視点⑧については、LCC（ライフサイクルコスト）の試算における50年間の縮減額に基づき評価します。（試算の結果及び条件等は別冊資料「項目ごとの評価の解説」p.11～12のとおり。）

| 視 点 | 評 価 項 目 | A 案 | B 案 | B1 案 | C 案 | C1 案 | D 案 |
|----------------------------|--|-------|-------|-------|----------------|----------------|----------------|
| ① 多様な人々との交流 | ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。（施設の位置関係で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | イ 若者・外国人などが利用しやすい施設配置となっているか。（公民館・児童館と他の施設の位置関係で評価） | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| ② 子育てしやすい環境づくり | ウ 低年齢児保育などの保育サービスを向上させる規模・配置となっているか。（保育園の規模の見込で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | エ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。（保育園と児童クラブの位置関係で評価） | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| | オ 保育園は自動車で利用しやすいよう整備されているか。（駐車場の確保可能性で評価） | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | カ 校庭・園庭の広さは確保されているか。（校庭・園庭の確保可能性で評価） | ○ | △ | △ | △ | △ | ○ |
| ③ 子ども達の居場所づくり | キ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。（学校と保育園の位置関係で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| | ク 子ども達の居場所に選択肢があるか。（公民館・児童館等が配置される位置の数で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | △ | △ | ◎ |
| | ケ 教育環境への影響はないか。（学校の位置関係で評価） | ○ | ○ | ○ | △○ | △○ | △○ |
| ④ 地域の活性化 | コ 地域への愛着を育み、地域の伝統継承や担い手の育成に寄与するか。（公民館等と学校の位置関係で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | サ 地域（形原小と形原北小学区）バランスの考慮は出来ているか。（施設の位置関係で評価） | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ |
| ⑤ 高齢者の活躍 | シ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。（公民館等と学校・児童館の位置関係で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| | ス 活動場所がより多く確保されているか。（公民館等の数で評価） | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| ⑥ 安全・安心 | セ 災害時に被災しにくい施設配置となっているか。（公民館の位置で評価） | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| | ソ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。（学校が配置される位置の数で評価） | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ |
| | タ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。（学校と保育園の位置関係で評価） | △ | △ | △ | △ | △ | ○ |
| ⑦ 利便性の向上 | チ 通学しやすい施設配置となっているか。（小学校の周辺年少人口及び通学距離で評価） | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ |
| | ツ 駐車スペースは確保されているか（保育園を除く）。（駐車場の確保可能性で評価） | ○ | △ | △ | △ | △ | △ |
| | テ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。（施設内の駐車場の位置関係で評価） | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ |
| ⑧ 効率的な施設配置 | LCC（ライフサイクルコスト）試算における50年間の縮減額（単位：百万円） | 2,737 | 2,737 | 2,869 | 5,141 | 5,773 | 4,927 |
| | ◎の個数 | 8 | 8 | 10 | 10 | 10 | 7 |
| | ○の個数 | 10 | 7 | 5 | 4 ² | 4 ² | 7 ⁸ |
| | △の個数 | 1 | 4 | 4 | 8 ⁷ | 8 ⁷ | 5 ⁴ |
| <参考> I 視点①～⑦についての評価（75点満点） | | 51.32 | 45.39 | 49.34 | 41.45 43.42 | 41.45 43.42 | 41.45 43.42 |
| <参考> II 視点⑧についての評価（25点満点） | | 11.85 | 11.85 | 12.42 | 22.26 | 25.00 | 21.34 |
| <参考> 合計（I+II）（100点満点） | | 63.17 | 57.24 | 61.76 | 63.71 65.68 | 66.45 68.42 | 62.79 64.76 |

<参考>点数の算出方法

- 視点①～⑦については、各評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、75点に得点割合を乗じた値を下表のIにまとめました。
- 視点⑧については、50年間のLCC（ライフサイクルコスト）の縮減額の最も高い案を25点とし、その他の案は縮減額に比例して減点した値を下表のIIにまとめました。
- IとIIを足し合わせ100点満点で合計を計算しました。

3 グランドデザインの考え方に基づく各案の評価

- 評価項目ごとに ◎：各方針の考え方と整合している、○：各方針の考え方と概ね整合している、△：各方針の考え方と異なっている の3段階で評価します。

| 評価項目 | | A案 | B案 | B1案 | C案 | C1案 | D案 | |
|-----------|---|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 1 小学校は標準規模の範囲に収まっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 2 小学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | △ | △ | △ | |
| 中学校 | 1 中学校は標準規模の範囲に収まっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 2 中学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | △ | △ | △ | |
| 公民館 | 1 地域と人をつなぐ公民館となっているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | △ | ◎ | |
| | 2 青少年が地域との交流活動に参加しやすいか。 | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| | 3 学校との連携がしやすい環境が整備されているか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | |
| | 4 地区内に配置されている公民館数がグランドデザインに合致しているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| 保育園 | 1 集団保育を保證できる規模を維持できるか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 2 費用負担の軽減が見込まれるか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 3 地区内に配置される保育園数がグランドデザインに合致しているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | 4 保育サービスの統一が図られているか。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | | ◎の個数 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| | | ○の個数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | △の個数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | | ◎の個数 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 |
| | | ○の個数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | △の個数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | | ◎の個数 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 2 |
| | | ○の個数 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 |
| | | △の個数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | | ◎の個数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | ○の個数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | △の個数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ＜参考＞各案の評価 | | (100点満点) | 93.75 | 93.75 | 96.88 | 73.96 | 73.96 | 77.08 |

＜参考＞点数の算出方法

- ・小学校、中学校、公民館、保育園の4施設それぞれの得点を25点ずつとして、100点満点で評価しました。
- ・各施設の評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、それぞれ25点に得点割合を乗じた値を下表にまとめました。

付帯事項について

施設の再配置を実施後に配慮すべきことや実施する上で注意すべき事項（運営面での工夫等）を抽出・整理しましょう。

（参考）これまでにいただいたご意見の一例

| 視 点 | ご意見 |
|----------------|---|
| ① 多様な人々との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動を学校とともに実施できるとよい。 ・公民館の利用促進のため、利用者が希望する講座などを把握したうえで、講座づくりをするとよい。 ・公民館は気軽に利用できる仕組みづくりをするとよい。 ・情報の発信と共有の仕組みづくりを積極的に行うとよい。 |
| ② 子育てしやすい環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の交流促進として、ランチ会を児童館などで実施できるとよい。 |
| ③ 子ども達の居場所づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館や児童館に、子ども向けプログラムの充実を図るとよい。 ・子どもの居場所づくりも大切だが、見守る人材の確保も必要だ。 ・中学生が自分たちで考えて取り組む機会として、地域のお祭りや職業体験は重要だ。 ・安全確保のため、年齢ごとに利用時間を分けるなどの工夫が必要だ。 |
| ④ 地域の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用者を増やすため、作業をしながら担い手を育てる講座の開催や、利用の規制を見直すことが必要だ。 ・学校の部活動廃止に伴い、公民館で部活動の補完ができるとうい。 ・学校を含めた情報共有を密にすることで、地域の人の活躍の場を作りたい。 |

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

| | |
|------------|---|
| ⑤ 高齢者の活躍 | <ul style="list-style-type: none"> • ちびっこ広場、公園、花壇の維持管理や小学校に花や野菜を植えるなど、高齢者が活躍できる取り組みがあるとよい。 • ちびっこ広場の維持管理で、高齢者など地域の人が活躍できるとよい。 |
| ⑥ 安全・安心 | <ul style="list-style-type: none"> • 学校周辺の交通環境の整備・改善が必要である。 |
| ⑦ 利便性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> • アクセスの改善には、駐車場不足の解消だけではなく、道路環境の整備も必要だ。 • イベント時などはバス送迎などの工夫もできないか。 • 駐車場不足を補うため、保育園バスやコミュニティバスを充実するのはどうか。 |
| ⑧ 効率的な施設配置 | <ul style="list-style-type: none"> • 施設移転後の跡地利用についても考えたい。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> • 小学校や中学校は行きたい学校を選べるとよい。 • 各町内にある集会所がもっと活用されるとよい。 |

本日の検討内容

- ① これまでのワークショップでの検討内容や評価結果を踏まえると、将来の形原地区の公共施設の配置としてふさわしい案はどの案ですか。
どのようなことを重視してその案を選びましたか。

- ② 皆さまが将来の形原地区にふさわしいと考える再配置プラン案を整理しました。
各案について配慮すべきことや実施する上で注意すべきことはありますか。